



1

• 住宅火災の傾向

• 住宅防火対策

～いのちを守る10のポイント～

ポイント!

2

住宅火災の傾向について

全国的に火災件数は減少傾向、電気起因する火災は増加傾向



住宅火災による死者の約半数は65歳以上の高齢者



3

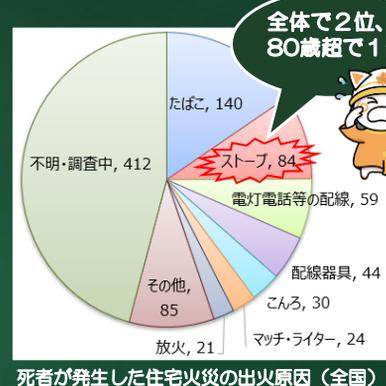
住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

習慣1：寝たばこは絶対にしない、
させない

習慣2：ストーブの周りに燃えやすい
ものを置かない

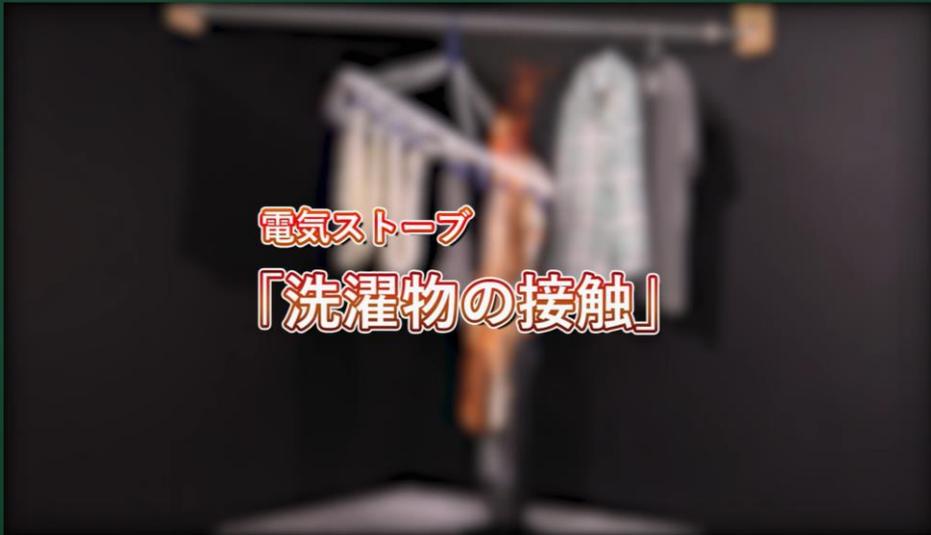
習慣3：コンロを使うときは火のそばを離れない

習慣4：コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く



4

【習慣2 参考動画：ストーブに洗濯物が接触】



5

【習慣4 参考動画：コンセントのトラッキング】



6

・住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

対策1：火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろは
安全装置 のついた機器を使用する

高齢者は、操作ミスや消し
忘れが増える傾向に

各種安全装置付き製品
の利用が効果的

ストーブ

自動消火装置
給油時消火装置
不完全燃焼防止装置
など

こんろ

立ち消え安全装置
調理油加熱防止装置
消し忘れ消火機能
など

安全装置があっても
防げない事例

事例

ガソリンを誤給油して
火災になった

注意!

こんろ奥の調味料を取ろう
として袖に着火した

・住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

対策2：火災の早期発見のために、住宅用火災警報器
を定期的に点検し、10年を目安に交換する

火災発生をすべての警報器でお知らせ!



連動型がオススメ

点検は、
ヒモを引く、
ボタンを押す

かんたん♪



【対策2 参考動画：住宅用火災警報器】



9

・住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

対策3：火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する

防災物品・防災製品

繊維などの可燃物の燃えやすい性質を改良し、着火しにくく、着火しても延焼拡大を抑制することができる性能を持たせたもの

防災物品

カーテン、じゅうたん、
布製ブラインド など

防災製品

寝具、衣類、エプロン
など

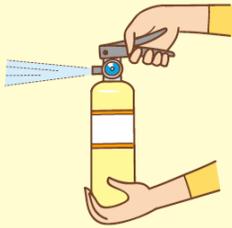
10

・住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

対策4：火災を小さいうちに消すため、**消火器**等を設置し、
使い方を確認しておく

住宅用強化液消火器

薬剤が霧状に放射され火を消します。水系なので、冷却効果と浸透性に優れています。



住宅用粉末消火器

粉末の薬剤が広い範囲を覆って、火勢を抑えます。抑制効果により制炎性に優れています。

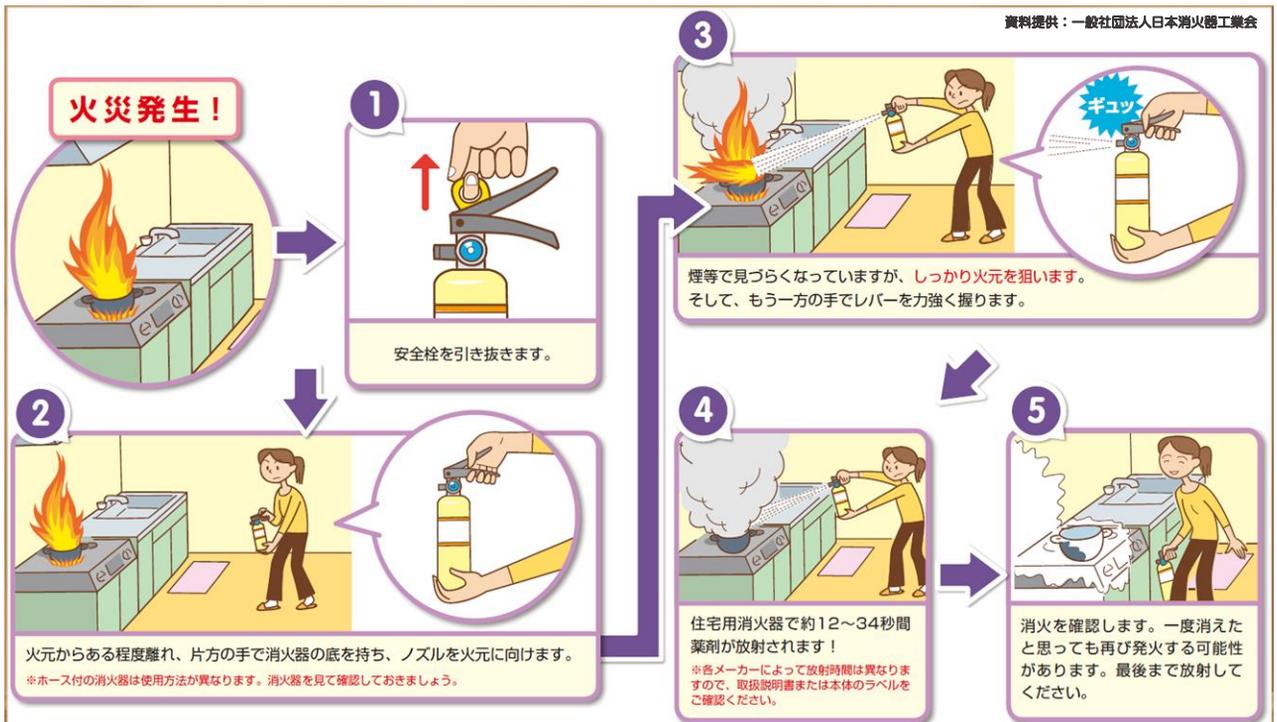


エアソール式簡易消火具

初期段階の火災に有効
消火器の代替品ではない
スプレー式、使いやすい



資料提供：一般社団法人日本消火器工業会



・住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

対策5：お年寄りや身体の不自由な人は、**避難** 経路と
避難 方法を常に確保し、備えておく

- ・避難経路を2方向以上確保
- ・玄関や階段等の整理整頓
- ・火災による死因の多くは煙を吸ったこと
による「一酸化炭素中毒」

煙の特性を知ることが重要

垂直方向は自転車並の速さ
就寝時の避難について考えよう

2階で寝ているときに1階
で火災が起きると…



・住宅防火対策～4つの習慣と6つの対策～

対策6：防火防災訓練への参加や個別訪問などにより、
地域 ぐるみの防火対策を行う

- ・町内会や自治会の防火防災訓練に積極的に参加
- ・訓練は家族で、近所の人にも声をかけて参加
- ・日ごろからご近所付き合いを

あいさつを交わすなど、小さなこと
でも良いので地域と関わりを持つ

「助けられ上手」
になろう♪



住宅防火に御協力を
お願いします

